

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の体調に留意しながら、戸外での活動を積極的に取り入れる。</li> <li>保育士といっしょに、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>秋の自然にふれながら、十分に体を動かして遊ぶ。</li> </ul>	行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体測定</li> <li>秋の健康診断</li> <li>避難訓練</li> <li>誕生会</li> <li>としょくん</li> </ul>	家庭連絡	<ul style="list-style-type: none"> <li>調節しやすい衣服の用意をしてもらう。</li> <li>体調を崩しやすい時期になってくるので、家庭と連携を取り合う。</li> <li>健康診断についての手紙を配布</li> </ul>	自己評価
今月の内容（養護・教育等）		環境構成		配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り
<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の変わり目の中、一人ひとりの体調に気をつけ、健康で快適に過ごせるようにする。</li> <li>秋の自然に触れながら、からだを動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>歌や遊びを楽しむなかで様々な言葉に触れ、やりとりや繰り返しなどを楽しむ。</li> <li>苦手な物も勧められて少しずつ食べようとする。</li> <li>スプーンを使って自ら食べようとする。</li> <li>食事の前後や汚れたときは、手や口をふいてきれいになった心地よさを感じる。</li> <li>着替えや身の回りのことに興味を持ち、保育士の援助を受けながら自分でやってみようとする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝夕や日中の気温差に気を配るとともに、健康状態に応じて室温や衣服を調節する。</li> <li>玩具の衛生などには特に配慮し、清潔な環境を保つ。</li> <li>園庭や園外のお散歩コースなど、秋の自然に触れられる機会を多くもつ。</li> <li>子どもの思いを言葉にして代弁し表現する。</li> <li>繰り返しや簡単なことばのやり取りがもてるような絵本、歌、手遊びなどを取り入れていく。</li> <li>楽しい雰囲気の中、保育士に促されたり認められたりしながら挑戦してみる。</li> <li>ウェットティッシュを一枚渡して自分で拭いてみるように声をかける。拭きとれてない汚れは保育士がきれいにする。</li> <li>着替えのしやすいよう、子どもの動線やスペースなどを確保し、口拭きやペーパータオルの始末なども自分でしやすいようにする。焦らずに着替えをする時間もつくる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの体調を把握し変化には適切に対応する。必要に応じて検温していく。</li> <li>薄着を心がけながら、寒さへの抵抗がつくようにする</li> <li>遊具類を整理整頓して空間を広げるなど危険防止に努める。</li> <li>友だちとの関わりが増え始めたので子どもの動きから目を離さないようにする。</li> <li>食べた事を褒めて自信に繋げるが無理強いしない。</li> <li>子どもに発見や驚きに気付き共感する。</li> <li>秋の自然物に触れた子どもの発見や驚きを見逃さず受け止め、共感していく。</li> <li>アレルギー対応について保育士間で連携を徹底させる。</li> <li>身の回りのことをさりげなく援助しながら促し、自分でしようとする気持ちを温かく見守っていく。</li> </ul>		
時間外保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆったりとした雰囲気の中で保育士と安心して過ごす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に安心して過ごせるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態や機嫌を見極め寂しい思いをさせないように寄り添う。</li> </ul>		